

学校だより

～ 塩っ子の夢と希望を育むために ～

平成21年2月2日

No.10

高松市立新塩屋町小学校

TEL 851-2011

FAX 851-2059

e-mail e-sinsio@edu-tens.net

課題別研修会を終えて

校長 池田 保

先月の課題別研修会においては、厳しい寒さといよいよの雨の中にもかかわらずご参観いただき、駐車場の誘導や全体会場の準備等にご協力をいただき、誠にありがとうございました。おかげをもちまして、本校の取組を公開授業を通して発信するとともに、今後の小中一貫教育カリキュラムの実施についての意見や示唆を参会の皆様方から得ることができました。その一部を紹介いたします。

【生活科・高松みらい科】

- きめ細やかな一人一人のニーズに応じた指導、他教科等との関連が図られた取組である。
- 小中一貫教育の上に、幼保との交流・連携も取り入れられている。
- 体験活動や自分の経験とつないだ表現が見られ、書く力や言語力の育成につながっている。
- 自分たちの手で、生き物や環境を大切にしようとする子どもを育てることにつながっている。
- 伝統産業を受け継ぐ人の生き方にふれることは、小学生にとっても、これからの学習や自分の将来や進路を考えていくことにつながる内容であった。
- 子どもたちが様々な人々と交流し、生き方を学ぶことで、自分を見つめていく実践であった。
- 環境教育とキャリア教育を柱とした新設教科に期待する。この2本の柱で9年間をつないだ取組を行っていくことで、子どもたちに育てたい力が身に付いていくと考える。



【英語科】

- 子どもたちの笑顔と活発な活動している姿から、英語を楽しむ、自分からコミュニケーションを図ろうとする姿勢につながっている。



- 低学年も高学年の授業も、自信をもって英語で会話している姿から、これまでの蓄積を感じる。
- 子どもたちの活動が、授業のねらいからずれることなく展開されていた。
- 英語を身近に感じる授業展開、単発でなく1テーマに数時間かけた構成が工夫されている。
- 小1から中3までの9年間を連携・接続させたカリキュラムとなっている。
- ALT（ジェニー先生）の熱心な指導とともに、担任との役割分担が参考になった。
- 担任のいる安心感の中で、子どもたちが中学校の授業の雰囲気慣れていくことは、小中の接続において効果的であり、小中一貫教育への高まりを感じる。

【体育科】

- 年間で15時間増の授業時間とともに、数時間をかけた指導の構成は、体力づくりを進めていく上で有効である。
- 基礎的な体力や運動能力は、これまでの体験や子どもを取り巻く環境によって大きく変わる。実態をふまえ、9年間を見通したカリキュラムを組むことは意義深い。
- 目的に合った場づくりや用具の開発など、様々な手立てが大変参考になった。



これらの意見や講演内容とともに、今年度の取組を校内で振り返っていくことで、新設教科として位置付けている「高松みらい科」や1年生からの「英語科」において、子どもたちに育てたい力、そして、学習内容・指導方法等を検討しているところです。

高松第一学園の開校まで、残すところ1年ほどになりました。学校の統合が、そして、小中一貫教育カリキュラムの実施が、子どもたちの確かな力を育むものとしていきたいと考えています。